

平成28年度 自己評価

社会福祉法人 擁童協会 大野保育園

評価項目の達成および取組状況

評価項目	取 組 状 況
I 保育の計画性	・園内で行われる保育はそれぞれ計画に沿って実施され、評価反省もされている。 今後は各クラス間の相互評価をするなど、情報交換する機会をもちたい。
II 保育の在り方、幼児への対応	・概ね良好である。よりこどもひとりひとりを尊重し、こども主体の保育が展開できるようにしたい。
III 保育者としての資質や能力・良識・適性	・概ね良好である。園内・園外研修に積極的に参加し、より保育の質を高められるよう努めたい。
IV 保護者への対応・守秘義務	・保育相談、連絡帳等を通じた保護者との情報交換が十分できている。守秘義務に対する意識をさらに高める必要がある。書類のICT化をすこしずつ進めていきたい。
V 地域の自然や社会とのかかわり	・行事へ近隣住民を招待して交流の場を設けることができた。遠足や散歩等に地域の公園や神社等資源を活用できた。老人クラブや公民館行事等より積極的に関わりを持ち、地域に根付いた保育園であるようにしたい。
VI 保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	・フレベル乳幼児教育研究会へ参加し、他園との交流を深めながら保育について学ぶ場を設けることができた。研究・実践したものを記録として残し、発表できるまで研究していきたい。
VII 保育の在り方、3歳未満児への対応	・全体的によくできている。乳児に対する専門性をより高め、保護者への情報提供ができる体制ができるとよりよい。
VIII 地域における子育て支援	・未就園児と保護者を対象とした「ママカフェ」を開催し、とても好評だった。 ・支給認定に関する相談を専門的な知識を持って対応することができた。 ・未就園児対応専任職員が居ないため、急な来訪への対応が難しいことがあった。